

山麓探偵団通信

9.10月号

七月の探偵団も快晴で、富士吉田市にある明見湖（ハス池）で、水生生物の観察をしました。はじめての参加者が半数あり、探偵団としても新風を感じる一日でした。

◇林正美先生のアドバイス

生き物を見るには、まずやはり予備知識があったほうがいい。

しかし、インターネット上の情報には、正確を欠くものが多いので、じっさいに五感、匂い、感触などで正しい知識を得てほしい。

昆虫の名前、生態を知り、そして生き物のつながり、生き物が出す情報を、自らが楽しんでほしい。例えば、アリひとつをとっても、サムライアリ、赤山アリ、黒山アリそれぞれ異なる習性や生態を知ると、俄然楽しくなってくるはずだ。擬態なども、さまざまな型があり、また、どういふ環境（水がきれいな場所とか）に、どういふ生き物があるのかを知っていくのは、大事なことだと思う。

◇参加者の感想

S・アメンボウの観察が楽しかった。

H・めったに経験したことのない昆虫の世界に、少しだけふれられてよかった。アメンボウやトンボの産卵を間近に見て、共に生きていく実感を得られた。



M・アメンボウは、子どもの頃に水たまりで見て以来だった。
F・（虫は生きている）を実感した。また、テングアワフキに出会えてよかった。
Ku・いつも、昆虫の拡大写真を撮っているが、今回は、こういう場所で観察できて新鮮だった。

K・生き物が好きなので、コムズムシを思い出したり、コメツキバツタで遊んでいたことなどをふりかえり、いい機会だったと思う。



I・近頃、一日ゆっくり歩く余裕がなく、きょうは、アメンボウの足もしつかり見ていなかったと、再認識させられた。自然界の情報の送り手ではなく、受け手として、参加してよかった。
H・スタツフとして、場所の設定を考え、水辺の生物にふれられてよかった。図鑑から一歩外に出て、自然をじっさいに感じるいい機会だった。

◎探偵団ニュース

NHKのコスミックフロントをクリックしていただくと、山中湖の星空カメラが24Hライブ中継になりますので、ぜひご覧下さい。

◇秋の探偵団活動ご案内

富士山の世界文化遺産登録の喧騒も、ひと段落した富士山麓です。不定期な探偵団活動ですが、山麓の秋を楽しむプログラムを用意しました。

久々に映像カメラマンの伊藤浩美さんと一緒に、秋の青木ヶ原樹海を歩きませんか。

・開催日＝十月十七日（木）、十九日（土）

・集合＝なるさわ道の駅に 朝十時

・参加費＝1800円

・持ち物＝昼食・マイカップ・防寒着・任意でポケット図鑑・虫眼鏡など

*申し込み・問い合わせは三日前までに、電話かメールでお願い

発行＝山麓探偵団 事務局
山梨県山中湖村平野一六九八
電話 ○五五五・六五・七〇二三